

# 腹腔鏡下胆嚢摘出術における手術難易度の予測因子の検討

## ■ 研究の対象となる方

2020年7月～2021年5月に当院で胆石症・急性胆嚢炎で胆嚢摘出術を受けられた方

## ■ 目的・方法

待機的に行われる腹腔鏡下胆嚢摘出術でも胆嚢壁の線維化が著明で難渋する症例も経験します。手術困難症例には回避手術を行うことが推奨されていますが、術中のみでなく術前に手術難易度を予測することは、術中早期に回避手術を行う一助となり、術後良好な全身状態に繋がると考え、本研究を行います。

診療を通じて得られた情報を収集し、術前の全身状態、血液検査、画像検査（MRCP）から術前に高難易度手術症例を予測します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

## ■ 実施期間

2021年10月28日から2022年4月まで

## ■ 研究に使用する情報

患者さんの背景、血液検査、画像検査（主にMRCPとERCP）、病理組織結果など

## ■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

<b>連絡先</b>	済生会熊本病院 外科 藏元一崇（研究責任者） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
------------	---

以上